

まちの輝き、再発見！ Bessho と Issho ラリー

1 単元について

(1) 子どもの願いと材

活動に向かう子どもの思いや願い

本学級の子どもは、これまでの学習してきた中で、クラスみんなで協働的に取り組む楽しさや相手の立場になって考えることの重要性について気付いている。

さらに今年の総合的な学習の時間においては、「友達と協力して、みんなの思いや願いを叶える」「別所地域の方々とつながりをつくる」ことを目標に、学習を進めていきたいという思いをもっていった。

また地域の情勢を鑑み、地域の方々と楽しく関わることのできる活動を行い、地域の方々とつながりを作りたいという願いから、地域と関わりながら、楽しく活動ができ健康にもつながる、「ウォークラリー」に取り組みたいと考えた。

別所の地域やそこに住んでいる方々とウォークラリーを一緒に行うことで、地域の特徴に気付いていただくと共に、まちの良さに気づき、地域の方々とつながりをもちたいと思っている。

身に付けさせたい力と材について

学習材…ウォークラリー

「ウォークラリー」とは、別所の地域をフィールドとして使用し、地域を回るウォークラリーを考え、それを楽しんで行うことができるような企画のことである。

「ウォークラリー」に取り組むにあたり、別所のまちの特徴について再発見してもらおうと共に、地域の方々とつながりをつくり、楽しんで取り組んでもらいたいという願いを実現するため、ウォークラリーのコースを考えたり、地域について詳しく調べたりして、地域の特徴を伝えるための方法を考えたり、多くの方に参加していただくために工夫をしたりすることができる材である。地域のことを取材する際には、町内会長さんを初め、地域振興に関わる方々の思いや工夫について教えていただくことができる。そして、地域の方々と関わることで別所地域の方々の思いも教えていただくことができると考える。

(2) 探究課題と育成を目指す資質・能力

探究課題	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力等	③学び向かう力・人間性
・ウォークラリーのコースの開発と地域を取り込んだイベント企画の楽しさとその工夫、地域振興に携わる方々の思いや願い	ア ウォークラリーの開発やイベントの企画に多様な工夫が必要であることに気付く。 イ 別所のまちには歴史的な史跡が残っていたり、昔から変わらない景観が残されていたりすることや「住みやすい」という特徴があることに気付く。 ウ ウォークラリーを使った交流から、地域振興に携わる方々の思いや願いに気付く。	エ ウォークラリーでたくさんの方に地域の特徴に気付いてもらえるようにするために、その工程での課題を見つけ、それを解決するための計画を立てる。(課題の設定) オ ウォークラリーのコースに地域の特徴を表したり、地域の方に広めたりするために、地域の特徴について地域の方や地域振興に携わる方にインタビューして、情報を集める。(情報の収集) カ デジタルのウォークラリーを用いて、作ってみたコースを試用し、楽しんでもらえるものになっているか試したり、地域の方と共にウォークラリーを行ったりして、ウォークラリーイベントの向上を目指す。(整理・分析) キ ウォークラリーを多くの方に参加してもらえるようにするための広告方法やイベント内容を考え、伝える。(まとめ、表現)	ク ウォークラリーやイベントの開発に対するこれまでの自分の取り組み方を見つめ、地域の方々の願いや自分たちの実現のために今の自分にできることを考え、取り組もうとする。(自分自身に関すること/社会性、主体性) ケ ウォークラリーの使用に向け、自分や友達、地域振興に携わる方や地域の方々の願いを受け入れ、友達や地域の方々のアドバイスを自分たちの活動に生かそうとする。(他者や社会との関わりに関すること/他者理解、協働性)

(3) 単元目標

ウォークラリーの開発に取り組み、それを広める活動を通して、ウォークラリーを企画する楽しさや別所地域の特徴、ウォークラリーを通して地域振興に関わる人の思いや願いに気づき、自分たちや地域の特徴が伝わるウォークラリーやイベントの内容を考えたり、それを地域に広めるための工夫をしたりすると共に、別所の地域を支える一員としての自分の役割に気づき、その役割を担おうとする態度を育てる。

(4) 単元概観 (総時数70時間)

まちの輝き、再発見！BesshoとIsshoラリー

(きっかけ 総合5)

- ・自分たちがこれまで取り組んできたことや付けてきた力を基に、これからのことを決めていこう。
- ・学年目標や学級目標も意識しながら、クラスみんなで本気で取り組めて、地域と関わりがもてる材に組みたいな。
- ・別所の地域を活用しながら、これまで身に付けたことを生かせる活動ができないかな。
- ・「ウォークラリー」なら地域の特色を生かせるし、「アプリ」の開発ができれば、たくさんの人に使ってもらえそうだね。

1 まちの輝き、再発見！ウォークラリーをイメージーション

(総合15)

- ・まずはどんなウォークラリーにしたらよいか。
- ・参加してくださった方々が、楽しく健康につながるものがよいよね。
- ・ウォークラリーの方法についても、みんなが楽しめるようなものがあるかな。
- ・自分たちで考えたウォークラリーを実際にやってみたらどうか。
- ・この内容だと、楽しんでもらうことができないのではないかな。
- ・「お店を紹介」「地域の景観を紹介」「公園紹介」の3つのコースを作ってみよう。
- ・作ったコースを試してみても、地域の「輝き」がしっかりと表されているか確かめよう。

別所の「輝き」を体感できるウォークラリーになってきたね。そろそろ地域の方に実際にやってみてほしいな。

ウォークラリーの企画の見直しをもったり、地域の特色に気付くことができるようにしたりするために、別所学区の町調査に行く機会を多くとる。保護者の方や地域の方のご協力を仰ぎ、地域の特色がそこに住む人と関係していることに気付くようにする。

2 まちの輝き、伝えたい！ウォークラリーをコンポジション！

(総合30)

- ・ウォークラリーを実際に開いてみよう。どうやって広めていったらよいか。
- ・たくさんの方と関わる機会をつくらないといけないね。
- ・3つのコースに合わせて、告知の仕方を考えていかないといけない。
- ・実際にやってみただけだと、なかなか人は集まらないね。もっと楽しんでもらえるような企画にできないかな。
- ・告知の仕方や企画自体の魅力が伝わるような工夫が必要だね。
- ・町内会長さんから、別所のまちの特徴について伺えないかな。
- ・横浜市でも同じような取組をしている方がいるようだね。話を聞いてみたい。
- ・ウォークラリーの企画には、たくさんの方に自分たちの思いが伝わるような工夫がたくさんされているんだ。

様々な思いや工夫、まちの特徴や現状について知ることができたね。これをウォークラリーに取り入れて、どんどん地域の方と関わっていききたいな。

地域の方と共に行くウォークラリーを企画する際に、地域振興に関わる自治会の方や区役所の方、ウォークラリーの企画をしている方の話を伺う機会をとり、自分たちの活動の意義を感じると共に、その活動を企画した自分たちの肯定感を高められるようにする。

3 まちの輝き、再発見！BesshoとIsshoコミュニケーション！

(総合20)

- ・自分たちが企画したウォークラリーイベントに参加してもらって、どんどん別所のまちの特徴やよいところを気付いてもらおう。
- ・みんなで集まって行う企画をして、地域の方とのコミュニケーションもとっていききたいな。
- ・地域の方と歩いてみて、自分たちが地域の方々のあたたかさを感じたね。
- ・別所のまちをこれからも好きになってほしいな。
- ・地域のあたたかさも、まちの「輝き」の一つだね。
- ・自分たちもその輝きの一部なんだね。
- ・これからもその輝きを費やせないように、自分たちにできることも考えていこう。

地域の方と関わるウォークラリーを実際に行い、そこで地域の方の思いや自分たちに対する思いや願いを知る機会をつくることで、地域社会の参画意識をもつことができるようにし、地域社会の一員として自覚をもてるようにする。

## 2 小単元について

### (1) 小単元目標

別所のまちをフィールドにしたウォークラリーイベントを行い、地域の方々と共に歩く活動に取り組み、別所のまちの特徴やそこに住んでいる方々とつながることの楽しさや自分たちへの思いに気づき、参加してくださった方々とつながりを作り、楽しんでもらえるようなイベントの工夫をしたり、地域の一員として自分たちにできることを考えたりして、別所のまちの一員としてできることを意識して生活しようとする態度を育てる。

### (2) 小単元構想

活動計画	支援	資質・能力
<b>1 まちの輝き、再発見！BosshoとIssho コミュニケーション！</b> (総合20)		
地域の方とつながるイベントを企画し、多くの方に別所のまちの輝きに気付いてもらおう(総合20時間) 本時4/20		
<p>○地域の方々がたくさん参加してもらえる方法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはたくさんの方々に、このイベントについて知ってもらわないといけないね。</li> <li>・告知方法の工夫が必要だね。今までのHPやメール配信、地域の掲示板だけでなく、実際にポスティングしたり、全校に手紙を配布したりするのはどうかな。</li> <li>・学援隊の方々に直接、登下校中にお渡しすることもできるね。</li> <li>・ポスターも目を引くような工夫が必要だね。</li> <li>・「楽しそう」「参加したい」と思ってもらえるようなイベント内容にしないと。</li> <li>・ポスターに景品を掲載して、まずは「ほしい」と思ってもらえることも、人を集める方法だね。</li> <li>・コースの内容に、「こんな秘密があったんだ」と再発見できるようなものがあるといいよね。</li> <li>・「参加してよかった」「楽しかった」と思ってもらえるようなものだとリピーターも増えるのでは。</li> </ul> <p>○ウォークラリーを実際に行い、地域の方々との関わりを作ると共に、まちの輝きを再発見してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよイベント開始だね。地域の方々喜んでもらえるように、一人ひとりの役割を明確にしよう。</li> <li>・地域の方とウォークラリーをするときに、自分が知っている「まちの輝き」について伝えていこう。</li> <li>・一緒に話ながら歩いていると、自分たちもとても楽しかったね。</li> <li>・参加してくださった方々が、話ができて楽しかったとも言ってくれたね。</li> <li>・自分たちが知らないまちのことも教えてくださったよ。</li> </ul> <p>○これまでの自分たちの活動を振り返り、これからの自分たちの地域に対する考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々楽しく参加できるイベントを企画することができてよかった。</li> <li>・最初は難しさを感じたけれど、地域の方々ともつながることもできたし、良い活動ができた。</li> <li>・自分たちの活動について、地域振興に関わる区役所の方々に褒めていただいた。地域に関して価値のある活動ができたことが嬉しい。</li> <li>・町内会長のHさんが言っていた「住みやすさ」「別所はよいところ」に、自分たちが活動を通して気付けた気がする。</li> <li>・その地域の町の一員に、自分たちも入っているんだと考えたら、自分たちも町のためにできることはこれからも取り組んでいかなければいけないね。</li> <li>・卒業しても、今回のつながりを大切にできる、別所の町の輝きを大切にできる人になりたいな。</li> <li>・自分たちが「まちの輝き」の一部になり、まちを支えていける人になっていきたいと思う。</li> </ul>	<p>●町内会長のHさんや南区社会福祉課の方からの話から伺う機会をつくることで、地域の方々も多く認知していただく方法を考えられるようにすると共に、別所地域のまちの特徴や住んでいる方々の特徴について理解することができるようにする。</p> <p>●地域の方と共にウォークラリーをすることで、別所の地域の特徴を再確認し、地域の方々とのつながりをもつことの楽しさを感じ、自分たちが取り組んでいる活動の地域的な価値について気付く。</p> <p>●自分たちが1年間で取り組んできたことを、これまでの掲示物や記録したものを基に振り返ることで、別所の地域に住んでいる方々の温かさや活動を支えてくださった方々の自分たちに対する思い、地域の方と関わりをもつ活動の意義について再確認し、今後の自分たちの地域とのかかわり方について考えることができるようになる。</p>	<p>☆町内会長Hさんや南区社会福祉課の方の話に基づき、別所に住んでいる方に認知していただく方法について考えている。(③-ケ)</p> <p>☆自分たちが行っている活動についてHさんや福祉課の方からいただいた助言から、地域と関わりをもった活動の意義について気付いている。(①-ウ)</p> <p>☆参加してくださった方が楽しみながらイベントに参加し、まちの輝きを再発見できるように、これまでに得た情報を整理し、それを地域の方に伝えていく。(2-キ)</p> <p>☆これまでの活動を振り返り、地域の方々とのつながりをもつことの楽しさや地域を盛り上げる活動をするための難しさや地域振興の大切さについて理解している。(①-ア)</p> <p>☆別所のまちの特徴を再確認すると共に、自分たちもその地域の特徴、地域の温かさの一因であることに気づき、一因としてこれからは自分ができることを考えている。(3-ク)</p>

**(1)目標**

前時に行ったまちのお店の取材から、別所のまちの特徴や魅力について参加して下さった方々がより実感できるようなウォークラリーの内容について考える共に、まちの特徴やその魅力について再確認することができる。

**(2)展開**

○子どもの活動	★評価規準 ☆教師の支援
<p>〈前時まで〉前時に行ったまちのお店の取材から、ウォークラリーにどんなことを掲載すれば、参加者にまちの特徴や魅力を感じてもらえるかについて、自分なりの考えをもっている。</p>	
<p>☆前時の活動の写真を掲示し、学習の過程を想起できるようにして、そこから本時の課題を、子ども自らが考えた言葉で提示するようにする。</p>	
<p>お店の取材内容を基に、ウォークラリーに何を掲載したらよいか話し合おう。</p>	
○前時の取材内容から、ウォークラリーに何を掲載したらよいかを話し合い、掲載する紹介文やクイズについて考える。	☆これまでの活動の中でいただいたアンケートの結果や、Hさんの言葉・南区社会福祉協議会のFさんとの出会いで知った地域の現状を掲示し、いつでも想起できるようにすることで、これまでの知識や経験を基に根拠のある話し合いになるようにする。
<p>お店の名前の由来を伝えたらよいと思う。お店の方の思いが込められていて、とても意外なことがあった。</p>	<p>地域の方と協力して、まちの安全を守る活動もされていることを伝えたい。</p>
<p>お店の方は、別所のまちの人は温かく、そして地域が静かと言っていた。住みやすいまちであることも伝えたらどうか。</p>	<p>そのお店にたくさんの方が来てもらえるように、おすすめの商品について掲載するのはどうか。行ってみたいと思ってもらいたい。</p>
☆取材した内容や掲載したい内容について整理して板書すると共に、他のお店で取材したことを相互理解していけるようにする。	
<p>ウォークラリーに掲載する内容は、それぞれのお店でそろえなくてもよいのか。</p>	
<p>「ヒラオ」さんも「匠」さんも、地域の方のことを考え、地域を愛していることが分かった。それを共通にしたらどうか。</p>	<p>それぞれのお店の工夫は伝えないとお客さんが増えないと思う。お店について参加者に知ってもらうことにも意義がある。</p>
<p>ファミマでも、地域の方と協力して安全を守っていることが分かったから、地域との関わりについては伝え方が良いね。</p>	<p>地域にあること、お店の方の思いやこだわりは、地域の方に向けてあることを伝えていくのが「まちの輝き」を伝えることになるのではないかな。</p>
☆取材した内容や掲載したいと考えていることに、別所の地域の方に向けての思いが込められていることに気付けるようにすると共に、そのようなお店があることが地域の特徴・魅力であること再確認することができるようにする。 ★取材内容を基にウォークラリーに掲載することについて話し合うことを通して、それぞれのお店でたくさんの方の工夫がされていることや地域の方に対する思いがあることに気づき、それがまちの特徴・魅力につながっていることを再確認している。(発言・記述)	
○本時の話し合いについて振り返り、次時に向けての見通しをカードに書く。 〈次時〉話し合ったことを基に、ウォークラリーの内容を決め、次の開催に向けての準備を行う。	

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方と直接的なつながりがもてるようにするために、社会福祉協議会の方や民生委員の方、自治会長さんと関わっていただき、地域一人と意識が変わるようにした。</li><li>・当初アプリデザインを考えて始まった活動であったが、早々にそれを断念し、規制のアプリケーションで、自分たちでデザインができるものを使用し、一からのデザインとはいかないまでも、地域の魅力を伝えることができるデザインにするために、何度も話し合い活動を行った。</li><li>・話し合い活動を何度も行うと共に、話し合う題材も子どもたちと決めながら活動を進め、主体的かつ自分たちの願いが形になる経験を繰り返せるようにした。</li><li>・地域をフィールドとしたウォークラリーを行うことで、自分たちが住む地域の特徴について自分たちで調べ、気付いていくようにした。また地域の方から見た地域の特徴を知るために地域にある商店に取材に行ったり、協議会の方から見た地域の特徴について取材をしたりして、地域に住む大人の方の視点を知る機会を作った。</li></ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ウォークラリーを実施するにあたり、参加して下さる方が多くなければ、開催した際の達成感を得られない。事前の計画的な準備と、地域を取り込んだ広告の仕方が、その開催日の参加人数に大きく影響した。</li><li>・いかに、地域の方に参加してもらうかを考えたが、子どもが使える公告方法が「学校メール」「学校HP」など学校と関わる方のみの方の方法しかなかった。そこで民生委員や社会福祉協議会の方にご協力をお願いしたが、うまく伝達が行かないこともあった。</li></ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域をフィールドにしたため、今まで知っていたと思っていた地域の特徴を、改めて取材をしたり、実際に見に行ったりすることで、再確認・再発見することができていた。何回か繰り返したウォークラリーイベントだったが、広告を事前にしたのにも関わらず、全然人が集まらず、社会を巻き込むことの難しさや現実社会の厳しさを知ることができた。また地域の方の協力を得て活動をすることで、自分たちの住んでいる地域の特徴が、そこに住む人にあることや、その地域の特徴である人の一部に自分たちもいることに気付くことができた。卒業を控えた子どもたちだったが、地域をより理解し、より愛着をもって卒業できたように思う。</li></ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方と多くかかわることができ、自分もこの地域の特徴を知ることができた。また地域に住む方の思いと、それを支える社会福祉協議会の方や区役所の方の思いを知ることができ、地域をつくる大変さに気付くことができた。</li></ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ウォークラリーを開催するにあたり、早めに実施日を計画しておくことで、それに向けて準備をしなくてはならないことが明確になり、子どもたちが主体的・課題解決的に活動を進めることができるようになる。</li><li>・社会福祉協議会、区役所等の区政を支えている方々との関わりがとても重要で、その関わりの中で、子どもたちは地域のことを知り、地域を支えている方の存在とその意義について知り、地域の課題を知ることができた。</li></ul>

## みんなで楽しもう 別所かるた

### 1 単元について

#### (1) 子どもの願いと材

##### 活動に向かう子どもの思いや願い

3年生になって初めての総合的な学習の時間で、2年生までの学習の経験で学んだことを話し合ったとき、全員が納得したのが「みんなで協力すると頑張れる」「みんなで協力したら楽しかった」という点であった。

3年生になって生活科から総合的な学習の時間へと変わる中で、生活科で育まれた「みんなで行うことで得られた達成感」を求める思いは強くなっている。

社会科のまち探検で、別所の町には住宅がたくさんあることや坂が多いことに気づき、「別所のまちを詳しく知りたい」という思いをもつようになった。

さらに、みんなと仲良くなりたいという思いが強まり、自分たちの知っているまちのことを伝えて仲良くなりたいという願いをもっている。

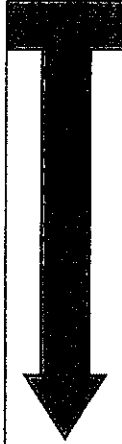
##### 身に付けさせたい力と材について

学習材…かるた

「みんなで協力して楽しくできて、地域の人とも繋がれることで、他教科とも関われるのは…？」とクラスで考えている中で出てきた材がかるたである。

まず、かるたは楽しむことができ、一緒に行った人同士が仲良くなれる。地域の色々なことを読み札に入れば、別所のまちのことをもっと詳しく知ることができる。そして、クラス一人ひとりの得意なことが、読み札の言葉、デザイン、文字で生かすことのできる材である。このようなかるたの特性が、地域との繋がりに生かされると総合的な学習の時間にふさわしい材になると考えた。

かるたの作成を通して、別所のまちのことを詳しく知り、別所のまちに関わる人の思いや願いに気付くことで、地域社会の一員としての役割に気付かせたい。



#### (2) 探究課題と育成を目指す資質・能力

探究課題	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
<p>・かるたの特性を生かしたオリジナルかるた作りの面白さとそこに組み入れる別所のまちの特徴やそこに関わる人々の願い。</p>	<p>① 読み札の言葉のリズムや取り札の絵のデザインといった、かるたという遊びの特性や特徴を知る。</p> <p>② 別所のまちのよさに気付く。</p> <p>③ かるたを作ることを通して、かるた作りの技術を身につける。</p> <p>④ かるた作りやかるたを通じた交流を通して別所のまちの人々の思いや願いに気付く。</p>	<p>① かるたをかるた大会などを開いて楽しむために、その作成過程での課題を見つけ、解決するための計画を立てる。(課題の設定)</p> <p>② 別所のまちの特徴を地域の方に聞いたり、インターネットや本を使って調べたりして、かるたの読み札に生かす。(情報収集)</p> <p>③ かるたの特性を知り、作成の段階で写真を選んだり、読み札を吟味したりするなかで、かるた作りの向上を目指す。(整理・分析)</p> <p>④ 別所のまちの人々の思いを受けて、かるたの読み札に必要なこと、取り札に必要なことを考え、作成に生かしたり、地域のよさを発信したりする。(まとめ、表現)</p>	<p>① かるたの作成やかるた大会でみんなが達成感を味わうために自分ができることを考え、実行しようとする。(自分自身に関すること/社会性、主体性)</p> <p>② かるたの作成やかるた大会を通して、別所のまちのよさや人々の願いを地域の方々から受け取り、自分たちの活動に生かそうとする。(他者や社会との関わりに関すること/他者理解、協働性)</p>

#### (3) 単元目標

オリジナルかるたの作成に取り組み別所のまちのよさを広める活動を通して、かるた作りの楽しさや、別所のまちに関わる方々の願いに気づき、自分たちの思いを込めたかるたのデザインを考えたり、それを地域に広めるための工夫をしたりすると共に、地域社会の一員としての自分の役割に気づき、地域の方たちのために自分たちができることを考え実践しようとする態度を養う。

#### (4) 単元構想

総時間数 70時間

# みんなで楽しもう 別所かるた

(きっかけ 総合)

- ・総合ってどんな学習なのかな。生活科で身につけた力を基にこれからのことを決めていこう。
- ・みんなで協力して一つのことをやると楽しかった。
- ・かるたなら、みんなで楽しめて仲良くなれそうだな。

## 1 かるたのよさを知ろう(総合18)

- ・かるたには色々なよさがあるね。
- ・一度かるたをやってみよう。
- ・みんなでやると楽しいね。
- ・ルールを決めないとどうしたらいいか分からないときがあるな。
- ・かるたについて少し詳しくなれたよ。
- ・自分たちでもオリジナルかるたを作ってみたいな。

オリジナルかるたを作るには、分からないことがたくさんある。別所のまちのことを知っている人に話を聞きたいな。

自分の意見を持ちやすくするために、実際にいくつかの既存のかるたを行う。

かるた作りに必要な準備を考えたり、今後の活動を考えたりする活動では、子どもたち同士の意見をつなげ合う。

## 2 オリジナルかるた作りにチャレンジ (総合34)

- ・オリジナルかるたを作るために、計画を立てよう。
- ・写真を撮っておくとかるた作りもしやすそう。
- ・普門院のOさんに話を聞くと、まだまだ知らない別所のまちのことがたくさんあった。
- ・新しく知ったこともみんなに伝えたいな。
- ・見たり聞いたりした別所のまちのよさをかるたで伝えるにはどうしたらいいのかな。本で調べてみよう。
- ・どのように取り札と読み札を作ったら、みんなが楽しめるかるたになるかな。
- ・かるたを作っていると、別所のまちのよさが分かったよ。

別所のまちのことを伝えられるオリジナルかるたができたよ。たくさんの人と一緒にやりたいな。

別所のまちの様子や、特徴をかるた作りに生かすために、普門院のOさんにつなぐ。

かるたの取り札、読み札の内容を考える活動を通して、別所のまちのよさについて考えられるようにする。

## 3 別所かるた大会を開いて、みんなで楽しもう (総合18)

- ・最後は地域の方に向けて別所かるた大会を開こう。
- ・みんなが楽しめるかるた大会にするには、どうしたらいいかな。
- ・みんなでかるたをすると仲が深まったよ。
- ・「楽しかった」と言われて嬉しかったな。
- ・普門院のOさんにもお礼をしたい。
- ・かるたを通してたくさんの人と関わることができたな。

地域の人たちと一緒に楽しむことができた。これからも、地域の一員として関わっていきたいな。

自分たちも地域の一員であり、地域とのつながりを感じられるようにするために、地域ケアプラザの方とのかるたを通じた交流の機会をつくり、地域の人と関わりながら活動する。

## 2 小单元について

### (1) 小单元目標

別所のまちを題材にしたオリジナルかるたを使ってかるた大会を行い、地域の方に楽しんでもらえる工夫を考えたり、親睦を深めるためにできることを考えたりして、別所のまちの一員として地域の方たちのためにできることを考えて生活しようとする態度を育てる。

### (2) 小单元構想

活動計画	支援	資質・能力
<b>3 別所かるた大会を開いて、みんなで楽しもう (総合1/18)</b>		
<p>○校内でかるた大会を開く。<b>(本時)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵札の大きさを変えた方がいいよ。</li> <li>・絵が小さくて何かよく分からないな。</li> <li>・読み札の五七五のリズムがいいと言われたよ。</li> <li>・読み札に別所のよさは出ているのかな。</li> </ul> <p>○別所かるた大会に参加してくれる人たちに楽しんでもらえる方法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にかるた大会に参加してくれる方に知らせないといけないね。</li> <li>・まずはかるた大会の当日の流れを考えよう。</li> <li>・司会やあいさつをする役割が必要だな。</li> <li>・かるた大会で優勝した人に何か景品があるといいな。</li> <li>・参加してくれた方にアンケートに答えてもらって、感想を聞こう。</li> </ul> <p>○別所かるた大会を行い、地域の方に別所のまちのよさや面白いところについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に楽しんでもらえるように、自分の役割をしっかりと把握しよう。</li> <li>・一緒にかるたをしていると自然と仲良くなれた気がしたよ。</li> <li>・参加してくれた方に楽しかったと言われたよ。</li> <li>・別所のまちのことを楽しく伝えられたね。</li> </ul> <p>○これまでの活動を振り返り、これからの地域との関わり方や考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたの読み札を作るのは難しかったけれど、クラスみんなで協力したら五十音揃えることができて嬉しかった。</li> <li>・別所かるた大会でみんなと仲良くなれてよかった。</li> <li>・まだまだ別所のまちには自分たちの知らないことがたくさんあると思う。これからも地域の方と関わって別所のまちのことを知っていきたい。</li> </ul>	<p>○校内でかるた大会に参加した人にアンケートを取り、改善点やアドバイスをもらいながら学習を進める。</p> <p>○別所かるた大会に向けて計画を立てることで、意欲を高められるようにする。</p> <p>○話し合いが円滑に進むように、これまでの学習経過を掲示する。</p> <p>○地域の方と一緒にかるた大会を行うことで、地域の方と関わる楽しさを感じ、地域の方の思いに気付く。</p> <p>○地域社会の一員として活動してきたことを振り返り、成果が実感できるように掲示物やこれまでの振り返りをもとに考えられるようにする。</p>	<p>☆校内でかるた大会を実施し、参加してくれる人に楽しんでもらえる方法について考えている。(思一①)</p> <p>☆読み札の文章を相手により伝わるように考えたり、絵札の絵や写真を吟味している。(思一③)</p> <p>☆参加してくださった方が楽しんでかるた大会に参加できるように、自分の役割を把握しかるた大会に参加している。(主一①)</p> <p>☆参加してくださった地域の方々との交流を通して、地域の方の思いに気付く。(知一④)</p> <p>☆これまでの活動を振り返り、地域の一員として今後自分たちにできることを考えている。(主一②)</p> <p>☆地域の方々の思いを受け、かるた作りやかるた大会を通して地域のよさに気付いている。(思一④)</p>



3 本時について

(1) 目標

アンケートを基に改善点を出し合う活動を通して、地域のよさが伝わるかるたになっているか考え、かるた完成への見通しをもつことができる。

(2) 展開

○子どもの活動	★評価規準 ☆教師の支援
<p>〈前時まで〉別所かるたが完成し、校内でかるた大会を行っている。そこでのアンケートを基に改善点やアドバイスをもらい、振り返りを記入している。</p>	
○本時の学習課題を確認する。	<p>☆前時の活動の写真を掲示し、学習の過程を想起できるようにして、そこから本時の課題を、子ども自らが考えた言葉で提示するようにする。</p>
<p style="text-align: center;">別所のよさが伝わるかるたになっているか話し合おう。</p>	
<p>○アンケートを基に意見を出し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="172 714 507 889" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〇〇には△△というよさがあるから、△△という言葉を読み札に入れよう。</p> </div> <div data-bbox="523 714 852 889" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>絵が小さくて何かよく分からなかったとあった。絵札の大きさを変えた方がいいよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="172 920 507 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もっとキーワードになるくわしい言葉を入れるといいと思う。</p> </div> <div data-bbox="523 920 852 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>読み札や絵札に別所のよさは出ているのかな。</p> </div> </div>	<p>☆振り返りを基に話し合いを進め、焦点化・具体化していけるようにする。</p> <p>☆かるた大会の目的を再度確認し、「みんなが楽しめる」「みんなと仲良くなりたい」という思いを思い出させる。</p>
<p style="text-align: center;">別所のよさが伝わるかるたにするために、大事にしたいことは何だろう。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="172 1346 507 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>絵札の絵をもっと大きく、はっきり書こう。</p> </div> <div data-bbox="523 1346 852 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かるたの大きさをもっと大きくしよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="172 1572 507 1767" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>詳しくまちの様子が分かるようにするために〇〇の言葉を入れてみよう。</p> </div> <div data-bbox="523 1572 852 1767" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなで楽しめるかるた大会にしたいね。</p> </div> </div> <p>○本時の話し合いと活動についてふり振り返り、次時や次の活動に向けての見通しをカードに書く。</p>	<p>☆出た意見を比較・検討し、今後の具体的な活動の見通しがもてるように板書する。</p> <p>★アンケートを基に話し合う活動を通して、かるたの読み札・絵札に必要なことを考え、かるたの完成に向けて見通しをもっている。(発言・記述)</p>
<p>〈次時〉話し合いから出た意見を基に、かるたの読み札や絵札を見直そう。</p>	

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域の様子を実際に子どもたちの目で見てかるたの題材を見つけられるように、まち探検で見たものや感じたことを生かしてかるた作りを行った。</li><li>• 四季折々の地域の様子を伝えるために、かるたの読み札作りに時間をかけた。読み札作りで子どもたちが題材に困った際に、地域のお寺に赴き住職の話を聞くことで、「自分たちも知らなかったことを伝えたい」と意欲を高めて活動できるようにした。</li><li>• かるた大会では、地域のよさを発信するために地域の方に参加してもらい、感想をもらうことで、自分たちの思いや願いが伝わったのかどうか振り返りを行った。</li><li>• 上級生や同学年にかるたに取り組んでもらい、その事後アンケートの結果から、実際に地域のよさが伝わっているのかを考え、より自分たちの思いや願いが伝わるかるたに作り変えていけるようにした。</li></ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域の高齢者と子どもたちが一緒にかるたを行うために、自治会長にご協力をお願いしたが、学校が標高の高い位置にあり急勾配の坂道が多いため往来が難しいと断られることがあった。</li><li>• 読み札の作成では、既製品のかるたのように五十音すべての読み札を作ることに苦労した。文章の頭文字によっては全体で語彙の確認が必要なことがあった。</li></ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• まち探検に行き、公園や景色を中心に自分たちの住む地域には知っている場所と知らない場所があることに気が付いていた。そこで自分が関心を持った内容から読み札作りを行ったため、リズムのよい短い文章で伝えたいことを伝えるために話し合いながら読み札の吟味をしていた。</li><li>• かるたが完成したときには、みんなと協力することで一つのことを成し遂げる達成感を得ていた。</li><li>• かるた大会では、「みんなで楽しみたい」という思いのもと、自信をもって自分たちのかるたを紹介したり、楽しくかるたに取り組んだりしていた。</li></ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 子どもたちと地域の特徴を調べたり考えたりするなかで、地域の特徴からよさを知ることができた。自分よりも子どもたちの方が地域について知っていることも多く、子どもたちと地域の様子について話すことも増えたため、自然と児童理解につながった。</li></ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 何をゴールとするのか、早い段階で話し合うことで、子どもたちと見通しを検討することができる。見通しを検討し、子どもたちがより主体的に活動できるようにすることが今後の課題である。</li></ul>